

# 下村定関係文書（その1）目録

国立国会図書館憲政資料室  
2007年5月（2011年6月PDF作成）

## 凡例

- ・記述項目は、番号／枝番／標題／作成者／宛先／年月日／記述法／数量／添付／内容／備考である。
- ・標題は原資料どおりの標題を踏襲したが、標題がないもの等について、適宜目録作成者が補った部分がある。ただし補足したか否かの表記上の区別は行っていない。
- ・年月日は、目録作成者が推定した部分がある。ただし推定したか否かの表記上の区別は行っていない。
- ・当室搬入時、資料は寄贈者の手によって内容別に整理され、封筒に分類されていたが、当室の目録はこの大別を踏襲しつつ、順序等を大幅に入れ替える形で目録編成を行った。この整理用封筒や目録作成時のメモ等は当資料群末尾の139番（番外資料）を参照されたい。
- ・当目録は、塩出浩之氏（当時法政大学非常勤講師）が作成した資料リストを加筆訂正し、配列等を再編することにより、憲政資料室が作成した。

# 目次

## 【書簡の部】

下村定宛書簡	1
下村定書簡（下村芳子宛・戦前期中心）	1
下村定書簡（下村芳子宛・在欧から）	2
下村定書簡（下村節子宛・戦前期中心）	3
下村定書簡（家族宛・巣鴨プリズン時代）	3
第三者宛書簡	5

## 【書類の部】

日記・手帳	6
皇室関係招待状他	8
陸軍関係	10
参議院時代	11
名簿	11
弔辞（下村定葬儀）	12
辞令・位記・勲記・証書等	13
写真・絵画	17
新聞・雑誌	18
伝記的著述	20
音声	20
その他	20
番外	20

## 下村定関係文書（その1）目録

### 【書簡の部】

#### 下村定宛書簡

1	伊藤二郎書簡 下村定宛 伊藤二郎は変名 (付)封筒	10月 22日	ペン	1通
2	宇垣一成書簡 下村定宛 (付)封筒	1月 6日		1通
3	吉本貞一書簡 下村定宛 (付)封筒	1945年 9月	墨書	1通
4	陳公博書簡 下村定宛 (付)封筒	1945年 8月 21日	墨書	1通

#### 下村定書簡(下村芳子宛・戦前期中心)

5 -1	下村定(北支那派遣甲第1800部隊)書簡 下村芳子宛 (付)封筒	1944年 12月 3日	墨書	1通
5 -2	下村定書簡 下村芳子宛 (付)封筒	1944 <sup>カ</sup> 年 12月 8日	墨書	1通
5 -3	下村定(北支那派遣甲第1800部隊)書簡 下村芳子宛 (付)封筒	1944年 12月 15日	墨書	1通
5 -4	下村定(北支那派遣甲第1800部隊)書簡 下村芳子宛 12/31(大晦日)付と1/3付を封入 (付)封筒	1945年 1月 3日	墨書	1通
5 -5	下村定書簡 下村芳子宛 (付)封筒	1945年 1月 15日	墨書	1通
5 -6	下村定(北支那派遣甲第1800部隊)書簡 下村芳子宛 (付)封筒	1945年 1月 21日	墨書	1通
5 -7	下村定(北支那派遣甲第1800部隊)書簡 下村芳子宛 (付)封筒	1945年 2月 5日	墨書	1通
5 -8	下村定(北支那派遣甲第1800部隊)書簡 下村芳子宛 (付)封筒	1945年 2月 16日	墨書	1通
5 -9	下村定(北支那派遣甲第1800部隊)書簡 下村芳子宛	1945年 1月 8日	墨書	1枚
5 -10	下村定(北支那派遣甲第1800部隊)書簡 下村芳子宛 (付)封筒	1945年 3月 18日	墨書	1通

## 下村定関係文書（その1）目録

5 -11 -1	下村定書簡 下村芳子宛 5-11-2を収録 (付)封筒	3月 8日	墨書	1通
5 -11 -2	下村定書簡 下村芳子宛 5-11-1に収納 送付依頼(軍用行李)	3月 11日	墨書	1通
5 -12	下村定書簡 下村芳子宛	9月 23日	墨書	1通
5 -13	下村定書簡 下村芳子宛 送付依頼(衣類)		墨書	1通
5 -14	下村定(北支那派遣甲第1800部隊)書簡 下村芳子宛 (付)封筒		墨書	1通
5 -15	下村定書簡		墨書	4枚
5 -16	下村定(北支那派遣第1800部隊)書簡 下村芳子宛 (付)封筒		墨書	1通
5 -17	繁(下村定)書簡 下村芳子宛 戦後の書簡カ(嶋村繁は戦後直後の下村定の変名)	5月 3日	ペン	1通

### 下村定書簡(下村芳子宛・在欧から)

5 -18	下村定書簡 下村芳子宛	1920頃	ペン	1通
5 -19	下村定書簡 下村芳子宛 (付)封筒	1934年 5月 15日	ペン	1通
5 -20	下村定書簡 下村芳子宛		ペン	1通
5 -21	下村定書簡 下村芳子宛		ペン	1通
5 -22	下村定書簡 下村芳子宛		ペン	1通
5 -23	下村定書簡 下村芳子宛		ペン	1通
5 -24	下村定書簡 パリより		ペン	1通

## 下村定関係文書（その1）目録

5 -25	下村定書簡 下村芳子宛 年賀状か	1963年		ペン	1通
5 -26	下村定書簡 スペイン旅行		4月 12日	ペン	1通

### 下村定書簡(下村節子宛)

6 -1	下村定(北支那派遣甲第1800部隊)書簡 下村節子宛 (付)封筒	1944年	12月 24日	墨書	1通
6 -2	下村定書簡 下村節子宛			墨書	1通
6 -3	下村定(北支那派遣甲第1800部隊)書簡 下村節子宛 (付)封筒		1月 5日	墨書	1通
6 -4	下村定(北支那派遣甲第1800部隊)書簡 下村節子宛 (付)封筒	1945年	3月 2日	墨書	1通
6 -5	下村定(北支那派遣甲第1800部隊)書簡 下村節子宛 (付)封筒	1945年	1月 18日	墨書	1通
6 -6	下村定書簡 下村節子宛	1945年	4月 26日	墨書	1通
6 -7	下村定(北支那派遣甲第1800部隊)書簡 下村節子宛 (付)封筒		3月 22日	墨書	1通
6 -8 -1	下村定書簡 下村節子宛 6-8-2,3を収納 (付)封筒		10月 14日	ペン	1通
6 -8 -2	下村芳子書簡 下村節子宛 6-8-1に収納		10月 13日	墨書	1通
6 -8 -3	下村節子書簡 下村定・芳子宛 6-8-1に収納		1月 31日	ペン	1通

### 下村定書簡(家族宛・巣鴨プリズン時代)

7 -1	下村定書簡 下村芳子宛 (付)封筒	1946年	2月 10日	鉛筆	1通
7 -2	下村定書簡 下村芳子宛 (付)封筒	1946年	2月 24日	墨書	1通

## 下村定関係文書（その1）目録

7 -3	下村定書簡 下村芳子宛 第4信 (付)封筒	1946年 3月 6日	墨書	1通
7 -4	下村定書簡 下村芳子宛 第5信 (付)封筒	1946年 3月 11日	墨書	1通
7 -5	下村定書簡 下村芳子宛 第6信 (付)封筒	1946年 3月 18日	墨書	1通
7 -6	下村定書簡 下村芳子宛 第7信 (付)封筒	1946年 3月 25日	墨書	1通
7 -7	下村定書簡 下村芳子宛 第8信 (付)封筒	1946年 4月 1日	墨書	1通
7 -8	下村定書簡 下村芳子宛 第9信 (付)封筒	1946年 4月 8日	墨書	1通
7 -9	下村定書簡 下村芳子宛 第10信 (付)封筒	1946年 4月 15日	墨書	1通
7 -10 -1	下村定書簡 下村芳子宛 7-10-2に収納 第11信	1946年 5月 27日	墨書	1通
7 -10 -2	下村定書簡 下村芳子宛 7-10-1を収納 第12信 (付)封筒	1946年 4月 29日	墨書	1通
7 -11	下村定書簡 下村芳子宛 第16信 (付)封筒	1946年 5月 27日	墨書	1通
7 -12	下村定書簡 下村芳子宛 第17信 (付)封筒	1946年 6月 3日	墨書	1通
7 -13	下村定書簡 下村芳子宛 第18信	1946年 6月 6日	墨書	1通
7 -14	下村定書簡 下村節子宛 第19信 (付)封筒	1946年 6月 15日	墨書	1通
7 -15	下村定書簡 下村芳子宛 第20信 (付)封筒	1946年 6月 24日	墨書	1通
7 -16	下村定書簡 下村節子宛 第22信 (付)封筒	1946年 7月 8日	墨書	1通

## 下村定関係文書（その1）目録

7 -17	下村定書簡 第23信 (付)封筒	1946年 7月 22日	墨書	1通
7 -18	下村定書簡 下村節子宛 第26信 (付)封筒	1946年 8月 5日	墨書	1通
7 -19	下村定書簡 下村芳子宛 第27信 (付)封筒	1946年 8月 12日	墨書	1通
7 -20	下村定書簡 下村芳子宛 第28信 (付)封筒	1946年 8月 19日	墨書	1通
7 -21	下村定書簡 下村芳子宛 第29信 (付)封筒	1946年 8月 26日	墨書	1通
7 -22	下村定書簡 下村芳子宛 第49信 (付)封筒	1947年 1月 13日	鉛筆	1通

### 第三者宛書簡

8	下村定書簡 伊東先生宛		墨書	1通
9	下村定書簡 原守(第一復員省)宛 板垣復員官に廻送(原) (付)封筒	1946年 2月 17日	墨書	1通

## 【書類の部】

### 日記・手帳

- |    |  |    |    |
|----|--|----|----|
| 10 | <b>健康日記</b><br>1939年<br>下村定                                    | ペソ | 1冊 |
| 11 | <b>更生報国</b><br>1939～1940年<br>下村定                               | ペソ | 1冊 |
| 12 | <b>手帳 昭和14年度</b><br>1939年<br>下村定                               | ペソ | 1冊 |
| 13 | <b>戦場へ</b><br>1940年<br>下村定                                     | ペソ | 1冊 |
| 14 | <b>堅忍必成</b><br>1940～1942年<br>下村定                               | ペソ | 1冊 |
| 15 | <b>撃滅</b><br>1944～1945年<br>下村定                                 | ペソ | 1冊 |
| 16 | <b>獄中手記</b><br>1946～47年<br>下村定(坂本繁名)                           | ペソ | 1冊 |
| 17 | <b>日記(昭和20年3月13日より)</b><br>1945～1947年<br>下村定<br>同日以前の分は別日記より転写 | ペソ | 1冊 |
| 18 | <b>手帳 昭和24年度</b><br>1949年<br>下村定                               | ペソ | 1冊 |
| 19 | <b>日記 昭和25年</b><br>1950年<br>下村定                                | ペソ | 1冊 |

## 下村定関係文書（その1）目録

20	<b>日記 昭和26年</b> 1951年 下村定	ペソ	1冊
21	<b>日記 昭和27年</b> 1952年 下村定	ペソ	1冊
22	<b>職員手帳 昭和27年</b> 1952年 下村定	ペソ	1冊
23	<b>ビジネス・ダイアリー 1953</b> 1953年 下村定	ペソ	1冊
24	<b>DIARY 昭和30年</b> 1955年 下村定	ペソ	1冊
25	<b>手帳(三菱銀行) 昭和32年</b> 1957年 下村定	ペソ	1冊
26	<b>参議院手帖 昭和35年</b> 1960年 下村定	ペソ	1冊
27	<b>参議院手帖 昭和36年</b> 1961年 下村定	ペソ	1冊
28	<b>参議院手帖 昭和37年</b> 1962年 下村定	ペソ	1冊
29	<b>手帳 昭和37年</b> 1962年 三和銀行 未使用		1冊
30	<b>参議院手帖 昭和38年</b> 1963年 下村定	ペソ	1冊

下村定関係文書（その1）目録

- |    |                                    |    |    |
|----|------------------------------------|----|----|
| 31 | <b>参議院手帖 昭和39年</b><br>1964年<br>下村定 | へん | 1冊 |
| 32 | <b>参議院手帖 昭和40年</b><br>1965年<br>下村定 | へん | 1冊 |
| 33 | <b>参議院手帖 昭和41年</b><br>1966年<br>下村定 | へん | 1冊 |
| 34 | <b>参議院手帖 昭和42年</b><br>1967年<br>下村定 | へん | 1冊 |
| 35 | <b>参議院手帖 昭和43年</b><br>1968年<br>下村定 | へん | 1冊 |

皇室関係招待状他

- |    |  |    |    |
|----|--|----|----|
| 36 | <b>宴会案内</b><br>1909年            1月        4日<br>角田敬三郎、麻生三郎(角田は朝香宮付家令、浅生は北白川宮付家令)<br>下村定宛 | 活版 | 1通 |
| 37 | <b>園遊会案内(鳩彦王婚礼)</b><br>1909年            4月        30日<br>市野喜作(朝香宮付家令)<br>下村定宛            | 活版 | 1通 |
| 38 | <b>園遊会案内</b><br>1910年            5月        28日<br>市野喜作(朝香宮付家令)<br>下村定宛                   | 活版 | 1通 |
| 39 | <b>園遊会案内</b><br>1911年            9月        6日<br>長崎省吾(閑院宮付別当)<br>下村定宛                    | 活版 | 1通 |
| 40 | <b>園遊会案内(稔彦王婚礼)</b><br>1915年            5月        1日<br>有馬純文(東久邇宮付宮内事務官)<br>下村定宛 (付)封筒   | 活版 | 1通 |
| 41 | <b>園遊会案内(稔彦王および同妃主催)</b><br>1915年            5月        22日<br>有馬純文(宮内事務官)<br>下村定宛        | 活版 | 1通 |

## 下村定関係文書（その1）目録

42	<b>饗饌案内(大饗第一日)</b> 1915年 11月 1日 波多野敬直(宮内大臣) 下村定宛 (付)封筒	活版	1通
43	<b>宴会案内(特別大演習後)</b> 1917年 11月 1日 波多野敬直(宮内大臣) 下村定宛 (付)封筒	活版	1通
44	<b>晩餐会案内</b> 1917年 12月 5日 田内三吉(閑院宮付別当) 下村定宛 (付)献立表、名札、封筒	活版	1通
45	<b>賜饌案内(陸軍特別大演習後)</b> 1930年 11月 1日 一木喜徳郎(宮内大臣) 下村定宛 (付)封筒	活版	1通
46	<b>御前講話日時通知(「軍縮会議並ジュネーヴニ於ケル講和会議ノ感想)</b> 1933年 11月 25日 鈴木貫太郎(侍従長) 下村定宛 (付)封筒	活版	1通
47	<b>賜饌案内(陸軍特別大演習後)</b> 1934年 11月 1日 湯浅倉平(宮内大臣) 下村定宛 (付)地図、封筒	活版	1通
48	<b>晩餐会案内(盛厚王成年式後)</b> 1936年 6月 7日 松本幹之介(東久邇宮付宮内事務官事務取扱別当) 下村定宛	活版	1通
49	<b>午餐(献立表)</b> 1936年 11月 30日	活版	1枚
50	<b>晩餐(献立表)</b> 1937年 9月 14日	活版	1枚
51	<b>午餐(献立表)</b> 1937年 10月 28日	活版	1枚
52	<b>10月8日参内令状</b> 1942年 10月 7日 内閣書記官 下村定宛 (付)封筒	活版	1通
53	<b>封筒(のみ)</b>		1枚

## 下村定関係文書（その1）目録

### 陸軍関係

- |       |   |         |      |
|-------|---|---------|------|
| 54    | <b>千九百十四年九月に於けるマルヌ河畔の会戦に就て(於陸軍<br/>大学校卒業証書授与式)</b><br>1916年 11月 25日<br>下村定<br>(付)地図 | 木版      | 同文2冊 |
| 55    | <b>舐犢之訓</b><br>1942年 1月<br>陸軍科学学校編(下村定校長時代談話)                                       | 活版      | 1冊   |
| 56    | <b>陸軍軍人軍属に告ぐ(陸軍大臣就任直後の訓示)</b><br>1945年 8月 26日<br>下村定<br>復員省保存資料より抜粋。ラジオ放送           | 謄写(タイプ) | 1冊   |
| 57    | <b>再び陸軍軍人軍属に告ぐ</b>  | 謄写(手書)  | 9枚   |
| 58    | <b>軍需品等の引渡等に関する細部指示の件</b><br>1945年 9月 20日<br>陸軍省副官                                  | 謄写(手書)  | 2枚   |
| 59    | <b>下村陸軍大臣答弁</b><br>1945年 11月 28日<br>衆議院本会議  | タイプ     | 2枚   |
| 60    | <b>第88回帝国議会における内閣総理大臣演説</b>   | タイプ     | 18頁  |
| 61 -1 | <b>今上御聖徳の一端(終戦処理を回顧して)</b><br>1967年 8月 15日<br>下村定(元陸軍大臣・日本協会会長)<br>62-1~4は合綴        | 活版      | 1冊   |
| 61 -2 | <b>新聞切抜(戦犯も忠良な愛国者、東条大将の自決問題)</b><br>62-1~4は合綴                                       |         | 1枚   |
| 61 -3 | <b>終戦処理の回顧</b><br>1968年 8月<br>下村定<br>62-1~4は合綴                                      | 謄写(タイプ) | 1冊   |
| 61 -4 | <b>陸軍軍人軍属に告ぐ(陸軍大臣就任直後の訓示)</b><br>下村定<br>62-1~4は合綴 復員省保存資料より抜粋                       | 謄写(タイプ) | 1冊   |
| 62    | <b>恩給増額をめぐる私見と反省</b><br>1958年 2月 11日<br>下村定   | 謄写(タイプ) | 1冊   |

## 下村定関係文書（その1）目録

- 63 **昭和37年10月7日砲兵会における講演要旨** 謄写(タイプ) 1冊  
1962年 10月 7日  
斎藤俊一(陸上幕僚監部武器課・火器班長・2等陸佐)
- 64 **今上御聖徳の一端(終戦処理を回顧して)** 活版 同文5冊  
1967年 8月 15日  
下村定(元陸軍大臣、日本協会会長)
- 65 **終戦処理の回顧** 謄写(タイプ) 1冊  
1968年 8月  
下村定  
書き込みあり
- 66 **終戦后警察予備隊の設立に至るまでの回想** ペン 21枚  
下村定

### 参議院時代

- 67 -1 **七月中の情況** カーボン(手書) 28頁  
1965年  
下村定  
67-2と同文
- 67 -2 **七月中の情況** カーボン(手書) 28頁  
1965年  
下村定  
67-1と同文 (付)名簿(1枚)
- 67 -3 **供述予定事項** カーボン(手書) 1冊  
1965年 12月 1日  
下村定

### 名簿

- 68 -1 **北京会名簿** 活版 1枚  
1968年 5月 1日  
68はもとクリップで一括  
北京会は終戦時に北支方面軍参謀部第3課、天津引揚集結所に勤務した者・その遺族
- 68 -2 **衆議院議員(名簿)** ペン 2枚  
下村定  
68はもとクリップで一括
- 68 -3 **参議院議員(名簿)** ペン 2枚  
下村定  
68はもとクリップで一括
- 68 -4 **自衛隊(名簿)** ペン 1枚  
下村定  
68はもとクリップで一括

下村定関係文書（その1）目録

68 -5	<b>郷友連盟(名簿)</b> 下村定 68はもとクリップで一括	ペン	1枚
68 -6	<b>軍恩連盟(名簿)</b> 下村定 68はもとクリップで一括	ペン	1枚
68 -7	<b>傷痍軍人会(名簿)</b> 下村定 68はもとクリップで一括	ペン	1枚
68 -8	<b>名簿</b> 下村定 68はもとクリップで一括	ペン	1枚
68 -9	<b>名簿(あいうえお順)</b> 下村定 68はもとクリップで一括	ペン	34枚

弔辞(下村定葬儀)

69	<b>摩訶訶般若波羅蜜多心經</b> 1968年 3月 25日 桜井全覚(不知火山瑠璃光寺住職) 下村定宛	墨書	1通
70	<b>弔詞</b> 1968年 3月 30日 北島驥子雄(第二十期生代表) 下村定宛 (付)封筒	墨書	1通
71	<b>弔辞</b> 1968年 3月 30日 佐藤栄作(自由民主党総裁) 下村定宛 (付)名刺、封筒	墨書	1通
72	<b>弔詞</b> 1968年 3月 30日 佐藤英彦 下村定宛 (付)包紙	墨書	1通
73	<b>弔詞</b> 1968年 3月 30日 塩沢清宜(日本郷友連盟会長) 下村定宛 (付)包紙	墨書	1通
74	<b>弔詞</b> 1968年 3月 30日 千葉三郎(素心会) 下村定宛 (付)包紙	墨書	1通

## 下村定関係文書（その1）目録

75	<b>弔辞</b> 1968年 3月 30日 豊嶋房太郎(日本傷痍軍人会会長) 下村定宛 (付)包紙	墨書	1通
76	<b>弔辞</b> 1968年 3月 30日 山本義一郎(軍恩連盟全国連合会会長) 下村定宛 (付)包紙	墨書	1通
77	<b>弔辞</b> 1968年 3月 30日 山脇正隆(偕行社会長) 下村定宛 (付)包紙	墨書	1通
78	<b>弔詞</b> 渡辺卓哉(日本協会理事長) 下村定宛 (付)封筒	ペン	1通
79	<b>御霊前に捧ぐる弔辞</b> 1968年 3月 31日 出倉利信 故下村定御家族様宛 (付)封筒	ペン	1通
80	<b>葉書(お悔み)</b> 1968年 3月 27日 奥本実 下村定宛	墨書	1通
81 -1	<b>電報控</b> 81-2を挿入	ペン	1冊
81 -2	<b>弔電控え</b> 81-1に挿入	ペン	7枚
82	<b>葉書</b> 1968年 5月 1日 石井親俊 下村芳子・健宛	墨書	1通
83	<b>名刺</b> 増田甲子七(防衛庁長官・衆議院議員)		1枚
<b><u>辞令・位記・勲記・証書等</u></b>			
84	<b>給助金六百円を給す</b> 1901年 5月 15日 内閣 下村定(下村定辞相続人)宛 下村定辞の軍人恩給	墨書	1枚
85	<b>任陸軍砲兵少尉</b> 1908年 12月 25日 桂太郎(内閣総理大臣) 下村定宛	墨書	1枚

下村定関係文書（その1）目録

86	<b>補野砲兵第十四連隊附</b> 1908年 12月 25日 陸軍省 下村定宛	墨書	1枚
87	<b>位記(正八位)</b> 1909年 3月 1日 田中光顕(宮内大臣) 下村定宛	墨書	1枚
88	<b>任陸軍砲兵中尉</b> 1911年 12月 26日 西園寺公望(内閣総理大臣) 下村定宛	墨書	1枚
89	<b>位記(従七位)</b> 1912年 3月 1日 渡辺千秋(宮内大臣) 下村定宛	墨書	1枚
90	<b>陸軍大学校へ入学を命ず</b> 1913年 12月 13日 陸軍省 下村定宛	墨書	1枚
91	<b>修学の為歩兵第三連隊附を命ず</b> 1914年 6月 12日 参謀本部 下村定宛	墨書	1枚
92	<b>免本職補野砲兵第十四連隊大隊副官</b> 1914年 8月 28日 陸軍省 下村定宛	墨書	1枚
93	<b>修学の為歩兵第三連隊付を命ず</b> 1914年 9月 23日 参謀本部 下村定宛	謄写(手書)	1枚
94	<b>目録(銀時計)</b> 1916年 11月 25日 山内豊景(陸軍歩兵少佐) 下村定宛 陸軍大学校優等卒業	墨書	1枚
95	<b>賜一等給</b> 1916年 12月 22日 陸軍省 下村定宛	墨書	1枚
96	<b>免本職補野砲兵第十四連隊附</b> 1916年 12月 25日 陸軍省 下村定宛	墨書	1枚

下村定関係文書（その1）目録

97	<b>位記(正七位)</b> 1917年 3月 20日 波多野敬直(宮内大臣) 下村定宛	墨書	1枚
98	<b>参謀本部附勤務を命ず</b> 1917年 10月 25日 陸軍省 下村定宛	墨書	1枚
99	<b>免本職補参謀本部々員</b> 1918年 7月 29日 陸軍省 下村定宛	墨書	1枚
100	<b>任陸軍砲兵大尉</b> 1918年 7月 29日 寺内正毅(内閣総理大臣) 下村定宛	墨書	1枚
101 -1	<b>賜二等給</b> 1920年 9月 17日 陸軍省 下村定宛	墨書	1枚
101 -2	<b>辞令書送付の件</b> 1920年 10月 12日 陸軍省軍務局軍事課 下村芳子宛	ペン	1枚
101 -3	<b>送り証(辞令書一通)</b>	墨書	1枚
102	<b>勲記(勲五等)</b> 1920年 11月 1日 児玉秀雄(賞勲局総裁) 下村定宛 大正4年乃至9年戦役の功に拠る	墨書	1枚
103	<b>位記(従六位)</b> 1922年 4月 20日 牧野伸顯(宮内大臣) 下村定宛	墨書	1枚
104	<b>位記(正六位)</b> 1927年 5月 16日 一木喜徳郎(宮内大臣) 下村定宛	墨書	1枚
105	<b>任陸軍砲兵中佐</b> 1928年 3月 24日 田中義一(内閣総理大臣) 下村定宛	墨書	1枚

下村定関係文書（その1）目録

106	<b>任陸軍砲兵大佐</b> 1931年 8月 1日 若槻礼次郎(内閣総理大臣) 下村定宛	墨書	1枚
107 -1	<b>位記(従五位)</b> 1931年 9月 15日 一木喜徳郎(宮内大臣) 下村定宛	墨書	1枚
107 -2	<b>位記交付の件通牒</b> 1931年 10月 13日 鈴木吉一(陸軍兵器本廠長) 建川美次(陸軍軍縮委員会幹事長)宛	活字	1枚
108	<b>ジュネーヴ一般軍縮会議に参列の全権委員随員被仰付</b> 1931年 12月 9日 内閣 下村定宛	墨書	1枚
109	<b>昭和6年乃至9年事変に於ける功に依り金二百円を賜ふ</b> 1936年 7月 10日 下条康麿(賞勲局総裁) 下村定宛	墨書	1枚
110	<b>任陸軍中将</b> 1939年 3月 9日 平沼騏一郎(内閣総理大臣) 下村定宛	墨書	1枚
111	<b>支那事変従軍記章之証</b> 1940年 4月 29日 下條安麿(賞勲局総裁)		1枚
112	<b>勲記(金鷄勲章)</b> 1940年 4月 29日 下條安麿(賞勲局総裁)		1枚
113	<b>勲記(旭日重光章)</b> 1940年 4月 29日 下條安麿(賞勲局総裁)		1枚
114	<b>勲章佩用心得</b> 賞勲局	活版	1冊
115	<b>甲種登録国債利金領収証書</b> 1909年 6月 下村定 日本銀行宛	墨書	4枚

## 下村定関係文書（その1）目録

### 写真・絵画

- |           |  |          |   |
|-----------|--|----------|---|
| 116       | <b>大正十三年十一月於小矢部河畔御野立所写真</b><br>1924年 11月   | ゼラチンシルバー | 1枚  |
| 117 -1 -1 | <b>軍隊集合写真(於大本営陸軍部)</b>   | ゼラチンシルバー | 1枚  |
| 117 -1 -2 | <b>大本営陸軍部写真(門前)</b>  | ゼラチンシルバー | 1枚  |
| 117 -2    | <b>軍隊集合写真(於大本営陸軍部)</b>   | ゼラチンシルバー | 1枚  |
| 118       | <b>御前会議写真</b><br>1937年<br>被写体は昭和天皇・閑院宮・杉山元・多田駿・下村定・伏見宮・米内光政・嶋田繁太郎・近藤信竹                   | ゼラチンシルバー | 1枚  |
| 119       | <b>集合写真(軍人他9名)</b>   | ゼラチンシルバー | 1枚  |
| 120       | <b>軍人集合写真</b><br>(付)安本江陽写真場(福岡市博多蔵本町)台紙  | ゼラチンシルバー | 1枚  |
| 121       | <b>軍人集合写真(整列風景)</b><br>(付)安本江陽写真場(福岡市博多蔵本町)台紙  | ゼラチンシルバー | 1枚  |
| 122       | <b>軍人集合写真(神社)</b>  | ゼラチンシルバー | 1枚  |
| 123       | <b>軍人集合写真(昭和8年福井で行われた陸軍大演習に参加した将兵の記念撮影)</b>  | 製版       | 1枚<br>標題は『日本写真史 1840-1945』(日本写真家協会、平凡社、1971、72-73頁より推定) |
| 124       | <b>湊川神社正遷宮祭記念(集合写真)</b><br>1952年<br>台紙に「昭和二十七年十月二十五日／塩田富造／贈下村定閣下」と墨書あり<br>(付)岡本写真館(神戸)封筒 | ゼラチンシルバー | 1枚  |
| 125       | <b>白崇禧肖像写真</b><br>1951年<br>台紙に「民国四十年元月 / 於台北」と墨書あり (付)白光摄影社(台北)封筒                        | ゼラチンシルバー | 1枚  |
| 126       | <b>陳公博肖像写真</b><br>台紙に「下村閣下恵存／陳公博贈」と墨書あり (付)南京Grand Studio台紙                              | ゼラチンシルバー | 1枚  |

## 下村定関係文書（その1）目録

- |        |  |          |    |
|--------|--|----------|----|
| 127 -1 | <b>Charles A. Willoughby(ウィロビー)肖像写真</b><br>1951年 5月 20日<br>127-3に収納 写真に「For Gen. Shimomura(Sadamu)／with kind personal regards. Major, General ,USA ,C.A. Willoughby」とタイプあり | ゼラチンシルバー | 1枚 |
| 127 -2 | <b>Charles A. Willoughby(ウィロビー)書簡 下村定宛</b><br>1951年 5月 14日<br>Charles A. Willoughby(Assistant Chief of Staff (G-2), Major General)<br>127-3に収納                             | ペン       | 1通 |
| 127 -3 | <b>封筒</b><br>Charles A. Willoughby<br>下村定(陸軍大臣)宛 127-1～2を収納  |          | 1枚 |
| 128    | <b>明治天皇御尊影(借行社記事688号附録勅諭拝受五十周年記念)</b><br>1932年 1月<br>高木背水(画)、借行社編纂部(発行)<br>(付)1932年1月台紙  |          | 1枚 |
| 129    | <b>軍人乗馬図(入城)</b>   |          | 1枚 |

### 新聞・雑誌

- |        |  |    |    |
|--------|--|----|----|
| 130 -1 | <b>封筒(「大臣」)</b><br>130-2～8を収納「新聞 要保存」とあり   | 墨書 | 1枚 |
| 130 -2 | <b>毎日新聞</b><br>1945年 11月 29日<br>130-1に収納   | 活版 | 1部 |
| 130 -3 | <b>読売報知</b><br>1945年 11月 29日<br>130-1に収納   | 活版 | 1部 |
| 130 -4 | <b>日本産業経済</b><br>1945年 11月 29日<br>130-1に収納 | 活版 | 1部 |
| 130 -5 | <b>朝日新聞</b><br>1945年 11月 29日<br>130-1に収納   | 活版 | 1部 |
| 130 -6 | <b>朝日新聞</b><br>1945年 11月 30日<br>130-1に収納   | 活版 | 1部 |
| 130 -7 | <b>日本産業経済</b><br>1945年 11月 30日<br>130-1に収納 | 活版 | 1部 |

下村定関係文書（その1）目録

130 -8	<b>読売報知</b> 1945年 11月 30日 130-1に収納	活版	1部
131	<b>東亜新報(大東亜戦争終結の聖断下る)</b> 1945年 8月 16日	活版	2枚
132 -1	<b>張り紙(故下村将軍御遺徳を近き御遺稿にしので)</b> 132-2～13等の記事標題が大型の紙に表記されている。	墨書	1枚
132 -2	<b>偕行 第177号</b> 1966年 3月 下村定著「一部に誤伝された北村旅伝」所収	活版	1冊
132 -3	<b>偕行 第182号</b> 1966年 8月 下村定著「蒋介石総統に体操を教えた人」所収	活版	1冊
132 -4	<b>偕行 第199号</b> 1968年 1月 下村出席時の「名幼会」関係記事所収	活版	1冊
132 -5	<b>偕行 第202号</b> 1968年 4月 下村定著「近頃歯がゆく思うこと(遺稿)」所収	活版	1冊
132 -6	<b>郷友 第135号</b> 1966年 5月 下村定著「山下将軍を憶ふ」収録号(同ページは欠)	活版	1冊
132 -7	<b>郷友 第139号</b> 1966年 9月 下村定著「関東大震災の回顧—主として軍隊の活動について—」所収	活版	1冊
132 -8	<b>郷友 第141号</b> 1966年 11月	活版	1冊
132 -9	<b>郷友 第147号</b> 1967年 5月 下村定著「終戦時の陛下の御苦衷」所収	活版	1冊
132 -1	<b>郷友 第153号</b> 1967年 11月 下村定著「今上御聖徳の一端(1)(終戦処理を回顧して)」所収	活版	1冊
132 -1	<b>郷友 第154号</b> 1967年 12月 下村定著「今上御聖徳の一端(2)(終戦処理を回顧して)」所収	活版	1冊

## 下村定関係文書（その1）目録

- 132 -1 **郷友 第156号** 活版 1冊  
1968年 2月  
下村定著「故吉田茂先生を憶ふ」所収
- 132 -1 **会諸 第13号** 活版 1冊  
1965年  
第二十期生会  
下村定著「御礼と御詫び」所収
- 133 **偕行第203号** 活版 1冊  
1968年 5月  
偕行社  
下村定の偕行社葬関係記事所収

### 伝記的著述

- 134 **征戦閑話** 謄写(手書き) 1冊  
1942～1943年  
下村定  
(付)表紙
- 135 **聖将の面影** 活版 1冊  
1969年 3月  
北島驥子雄編(第二十期生会)

### 音声

- 136 **選挙放送記念(テープ)** 1点  
日本放送協会  
参院選放送テープ。※媒体変換完了まで、聴取できません※

### その他

- 137 **木札(下村中将閣下)** 1枚
- 138 **冊子断片** 謄写(タイプ) 1枚  
「沖縄の政治、経済、文化……」
- 139 **(番外)分類封筒・目録編成用メモ(寄贈者整理用封筒・仮番号メモ等)** 一括